

象を反映するか？

#### (4) 田中内閣の二ヶ年

昭和二年春の金融恐慌は、我が國の經濟組織の底づ根本的の缺陷を暴露していくのであつた。即ち、不平等条約による我が國の資本主義が、その脆弱なる基礎の故に如何に宏大なる危機を蒙してゐるかを如実にハシテ露したからである。この實話を蔽へ、この危機を説教して行くためにば、必然的に最も審判的なる政府が要求された。田中内閣の出現は正にかかる要求へク解答ではければならぬ。

田中内閣ニケ年間の施政は、資本家底策の非常施設なると宣ふことが出来る

第一に國家の負担に於ける資本家地主の擔保である。田中内閣は十億円に人とする回庫補償を出すことに依つて完璧ニ化せし遂がた。

第二に帝國立憲的優恩政策に依る矛盾の解決である。田中内閣は済南事件に藉ニする機會ヲ対支出安に依つて、また所謂滿洲某事事件に依つて、不手際

失うも速硬手段に依る日資不舉定策に遭遇した。

第三に国内長差大災に対する態度の轉換である。最初商討運動に対する黒田、宇都宮らは、最高議會に請書提出して、官軍軍隊、地方官吏、民間の財產の保護の問題、軍隊は、對外的軍事活動の停止等を主張した。次に官軍軍隊の保護の問題、軍隊は、田中内閣の主張の如く主張であった。

終し田中内閣の决策はその非常施設に亘つた。果斷なる軍制的处置は、应急の政策としては可いセントの常識を擇するも、積極的な建設に際しては重大なる政策を取ざるを得ばならぬ。それで田中内閣は、との餘りにも要断なる政策不举定策の故に、との主張を済口内閣に譲らなければならなかつた。

#### (5) 田中内閣より済口内閣へ

済口内閣はその声明と並んで、日經濟回避の打開と互以て經濟第一の使命となした。その故に、整理緊縮政策は高唱せられ、金解禁ノ施行は高く擧げられた。蓋し田中内閣の政治ニケ年間に於ける放漫政治は、政商の横行を誇張し、國債の増資に及ぶべ一級大掛かりを招き、金利の低廉に依る金融ブルジョアジーの基盤を結果したからである。かくして田中内閣に対する怨嗟の声は盛た、金融ブルジョアジーの倒れから逐次として起るに至つた。田中内閣に代つて済口内